

【仮訳】総務省とドイツ連邦教育研究省との間の通信技術に関する協力趣意書

日本国総務省（以下「総務省」）とドイツ連邦教育研究省（以下「BMBF」）は、相互の関心に即して、両国の間に存在する G7 諸国や同志国としての友好関係に基づき、将来の通信技術分野における二国間関係や協力を拡大する意向がある。

両省は、将来の通信技術分野における相互協力の利点を認識し、将来の通信技術分野における両国の大学、研究所、研究センター及び民間セクター間の協力関係を構築することを目的として、Beyond 5G/6G 研究開発（R&D）の分野における技術・科学協力を支援・促進することを希望している。

総務省は、2021 年 3 月に情報通信研究機構（NICT）において、要素技術の開発を主眼とした Beyond 5G 研究開発促進事業を開始した。加えて、2023 年 3 月に、社会実装や産業化の実現を目指す研究開発プロジェクトを主に支援する基金を設立した。

ドイツでは、BMBF が 2021 年 6 月に開始した通信システムに関する研究プログラムを推進している。このプログラムは、デジタル主権と技術主権を高め、ドイツ経済の競争力を高め、社会、ビジネス、産業のあらゆる分野で 6G やその他の通信技術の多様な応用を促進することを目的としている。BMBF は、特に国家のデジタル化戦略や日独 ICT 政策対話の文脈で、ドイツ連邦デジタル・運輸省（BMDV）と緊密に連携して活動している。

このため、両省は、以下の項目について必要な措置を講じる意図を共有する：

- Beyond 5G/6G や将来の通信技術を、インダストリー4.0 やハイパーコネクテッド・ソサエティ 5.0 を実現するための世界のキーテクノロジーと考えた研究開発。
- 技術開発における社会的な共通目標の実現を目的とした、研究開発活動の調和と整合性。これが、柔軟性、拡張性、相互運用性、信頼性の高いインフラの基礎となり、持続可能な未来社会とオープンイノベーションエコシステムを育む。
- 日独の学術パートナー、研究機関、通信業界、ネットワーク事業者、産業界パートナー、中小企業、その他関連ステークホルダーが参加する共同研究開発。
- 共通の価値観に基いた Beyond 5G/6G のような将来の通信技術に関するグローバルな標準化活動と、民間企業や国際標準化機関の活動や動向を考慮した協調的な研究開発努力。

- 日本の Beyond 5G/6G プログラムに参加する学術機関、研究機関、産業界のパートナーと、ドイツの 6G イニシアチブの対応するパートナーとの間での優秀な科学者（博士号取得者・ポスドク）の交流。
- 日本の Beyond 5G/6G プログラムおよびドイツの 6G プラットフォームの対応するパートナーによって開催される共同ワークショップと科学的交流。

両省は、研究開発、連携及び標準化活動において国際協力を推進することが不可欠であるとの見解を共有する。両省は、この二国間協力の強化に向けて協力する意向がある。

本趣意書は、東京（日本）において、英文二通署名される。